

情報処理学会東北支部だより

第206号

発行責任者 西関 隆夫 (支部長)

事務局 水木 敬明 (庶務幹事)

〒980-8578 仙台市青葉区荒巻字青葉

東北大学情報シナジーセンター (本館)

Tel: 022-795-6092

Fax: 022-795-6096

email: tm-ipsj@rd.isc.tohoku.ac.jp

1 会告

1. 研究会のご案内

1.1.1 平成16年度第2回 研究会開催案内 (記事通番 04-20)

平成16年度第2回 情報処理学会東北支部研究会プログラム

日時：平成17年1月21日(金) 9:15～17:00

会場：会津大学講義棟 M9 (セッション A1, A2, A3); M10 (セッション B1, B2, B3)

その他の情報 <http://www.u-aizu.ac.jp/~z-cheng/conf/conf.html> を参照してください。

プログラム

開会挨拶 [9:15～9:25] M10

セッション A1：数理基礎 [9:30～11:30] 座長：伊藤 健洋 (東北大学), 程 子学(会津大学)

- 1) エルミート補間による3次元ベルマウス領域への格子生成
内田 善久*, 神田 英貞 (会津大)
- 2) 三次元ベルマウス領域における双曲型格子生成法
石橋 芳章*, 神田 英貞 (会津大)
- 3) スーパーコンピュータを用いた平行平板間流れ場の圧力に関する解析
下向 建秀* (会津大)
- 4) Partitioning Graphs of Supply and Demand
Takehiro Ito*, Xiao Zhou, Takao Nishizeki (Tohoku Univ.)

セッション B1 : マルチメディア [9:30 ~ 11:30] 座長 : 杉山 雅英 (会津大学), 程 子学
(会津大学)

- 1) 会津漆器職人技術の3次元データ記録システム
塩田修矢*, 石田慎也, 本田雅之, 浅田智朗, 出村裕英 (会津大学)
- 2) Active 探索法と耐雑音性向上の検討
杉山 雅英 (会津大)
- 3) Vq 識別器による高速話者検索
佐藤 恵志郎*, 杉山 雅英 (会津大)
- 4) マルチメディアデータ検索のための音声インデキシングシステム
渡邊 括行*, 杉山 雅英 (会津大)

昼食 : [11:30 ~ 12:30] 場所 : 学内の食堂

セッション A2 : ソフトウェアとアルゴリズム [12:30 ~ 14:30] 座長 : 孫 勝国 (会津大)

- 1) 透かし画像の分散埋め込みによる電子透かし法
上岡 晋太郎*, 苫米地 宣裕、内山 晴夫(八戸工大)
- 2) XP・OSS を連携させた後工程引きソフトウェア開発法に関する一考察
会沢 誠*, 金子正人, 武内惇, 藤本洋(日本大)
- 3) Fast Sub-Matrix Detection Using Neural Networks and Cross Correlation in the Frequency Domain
Hazem El-Bakry*, Qiangfu Zhao(会津大)
- 4) Java を用いたユビキタスアプリケーション開発手法の提案
土佐 雅人*, 鵜飼 弘平, 一沢 泰平, 程 子学(会津大)

セッション B2 : エージェント [12:30 ~ 14:30] 座長 : 甘泉 瑞応(会津大学)

- 1) マルチエージェントを用いた合意形成システム構成法に関する一考察
- OSCAR プロセスを用いた役割空間の実現方式 -
石川将太郎*, 金子正人, 武内惇, 藤本洋(日本大)
- 2) Blog を用いたコミュニティ制御機能の提案 ~ Q&A 機能の実現 ~
中野洋介*, 金子正人, 武内惇, 藤本洋(日本大)
- 3) 推薦情報を取り入れたメタ検索システムに関する研究
西村 光一*, 成田 祐一(日本大)
- 4) 協調フィルタリングに基づく情報付加システムの構築
箱崎浩徳*, 岡田ロベルト, 寺島 賢紀(宮城大)

休憩 : [14:30 ~ 15:00] M10

セッション A3： ロボットと GA [15:00~17:00] 座長： 成田 祐一（日本大学）

- 1) 小型ロボットを用いた CASL アセンブラ学習システムの開発
片岡 照貴*, 高山 文雄（いわき明星大）
- 2) G aによるネットワーク設計問題の解析について
高山雄介*, 松井和宏, 佐藤晴夫（日本大）
- 3) G aを用いたバリアマップ・シミュレーションについて
志村栄輔*, 松井和宏, 佐藤晴夫（日本大）
- 4) Performance Analysis of an AR-TDMA Protocol for Robot Communication
荒井 順平* (山形産業技術短大), 小山 明夫(山形大), バロリ・レオナルド(福岡工業大)

セッション B3： 遠隔ケア [15:00~17:00] 座長： 小山 明夫（山形大学）

- 1) 総務省「健康福祉プロジェクト」の概要
- 健康福祉のための先進的エージェント・ネットワークに関する研究 -
富樫 敦*, 大益 知佳, 湯本 純也, 藤村 幸平（宮城大）, 板橋 吾一（サイエントィア）, 野口 正一（仙台応用情報学研究振興財団）
- 2) 関数従属性による半構造データの分解と健康福祉オントロジへの適用
川村 雄大*, 大益知佳, 富樫敦（宮城大学）
- 3) 遠隔ケアカンファレンスシステムの実装とその評価
佐々木聡*, 安孫子忠彦, 小山明夫(山形大), 成田徳雄（米沢市立病院）
- 4) 入院患者と家族のコミュニケーションを支援するケアシステム
安孫子忠彦*, 佐々木聡, 小山明夫(山形大), 成田徳雄（米沢市立病院）

懇親会： [17:15 ~ 19:30] 場所：（後でお知らせします）

1.1.2 平成 16 年度第 2 回 研究会開催報告（記事通番 04-21）

日時：平成 17 年 1 月 21 日（金）9:15 ~ 17:00

会場：会津大学講義棟

M9（セッション A1, A2, A3）

M10（セッション B1, B2, B3）

発表件数：24 件

発表時間：20 分、質疑 10 分

開会挨拶 [9:15 ~ 9:25] M10

セッション A1：数理基礎 [9:30 ~ 11:30]

座長：伊藤 健洋（東北大学）、程 子学（会津大学）

- 1) エルミート補間による 3 次元ベルマウス領域への格子生成
内田 善久*, 神田 英貞（会津大）
- 2) 三次元ベルマウス領域における双曲型格子生成法
石橋 芳章*, 神田 英貞（会津大）
- 3) スーパーコンピュータを用いた平行平板間流れ場の圧力に関する解析
下向 建秀*（会津大）
- 4) Partitioning Graphs of Supply and Demand
Takehiro Ito* , Xiao Zhou, Takao Nishizeki (Tohoku Univ.)

セッション B1：マルチメディア [9:30 ~ 11:30]

座長：杉山 雅英（会津大学）、程 子学（会津大学）

- 1) 会津漆器職人技術の3次元データ記録システム
塩田修矢*, 石田慎也, 本田雅之, 浅田智朗, 出村裕英 (会津大学)
- 2) Active 探索法と耐雑音性向上の検討
杉山 雅英 (会津大)
- 3) Vq 識別器による高速話者検索
佐藤 恵志郎*, 杉山 雅英 (会津大)
- 4) マルチメディアデータ検索のための音声インデキシングシステム
渡邊 括行*, 杉山 雅英 (会津大)

セッション A2 : ソフトウェアとアルゴリズム [12:30 ~ 14:30]

座長 : 孫 勝国 (会津大学)

- 1) 透かし画像の分散埋め込みによる電子透かし法
上岡 晋太郎*, 苫米地 宣裕, 内山 晴夫 (八戸工大)
- 2) XP・OSS を連携させた後工程引きソフトウェア開発法に関する一考察
会沢 誠*, 金子正人, 武内惇, 藤本洋 (日本大)
- 3) Fast Sub-Matrix Detection Using Neural Networks and Cross Correlation in the Frequency Domain
Hazem El-Bakry*, Qiangfu Zhao (会津大)
- 4) Java を用いたユビキタスアプリケーション開発手法の提案
土佐 雅人*, 鶴飼 弘平, 一沢 泰平, 程 子学 (会津大)

セッション B2 : エージェント [12:30 ~ 14:30]

座長 : 甘泉 瑞応 (会津大学)

- 1) マルチエージェントを用いた合意形成システム構成法に関する一考察
- OSCAR プロセスを用いた役割空間の実現方式 -
石川将太郎*, 金子正人, 武内惇, 藤本洋 (日本大)

- 2) Blog を用いたコミュニティ制御機能の提案～Q&A 機能の実現～
中野洋介*, 金子正人, 武内惇, 藤本洋 (日本大)
- 3) 推薦情報を取り入れたメタ検索システムに関する研究
西村 光一*, 成田 祐一 (日本大)
- 4) 協調フィルタリングに基づく情報付加システムの構築
箱崎浩徳*, 岡田ロベルト, 寺島 賢紀 (宮城大学)

セッション A3 : ロボットと GA [15:00 ~ 17:00]

座長 : 成田 祐一 (日本大学)

- 1) 小型ロボットを用いた CASL アセンブラ学習システムの開発
片岡 照貴*, 高山 文雄 (いわき明星大)
- 2) G a によるネットワーク設計問題の解析について
高山雄介*, 松井和宏, 佐藤晴夫 (日本大)
- 3) G a を用いたバリアマップ・シミュレーションについて
志村栄輔*, 松井和宏, 佐藤晴夫 (日本大)
- 4) Performance Analysis of an AR-TDMA Protocol for Robot Communication
荒井 順平* (山形産業技術短大), 小山 明夫 (山形大), バロリ・レオナルド (福岡工業大)

セッション B3 : 遠隔ケア [15:00 ~ 17:00]

座長 : 小山 明夫 (山形大学)

- 1) 総務省「健康福祉プロジェクト」の概要
- 健康福祉のための先進的エージェント・ネットワークに関する研究 -
富樫 敦*, 大益 知佳, 湯本 純也, 藤村 幸平 (宮城大),
板橋 吾一 (サイエンティア), 野口 正一 (仙台応用情報学研究振興財団)

- 2) 関数従属性による半構造データの分解と健康福祉オントロジへの適用
川村 雄大*, 大益知佳, 富樫敦 (宮城大学)
- 3) 遠隔ケアカンファレンスシステムの実装とその評価
佐々木聡*, 安孫子忠彦, 小山明夫(山形大), 成田徳雄 (米沢市立病院)
- 4) 入院患者と家族のコミュニケーションを支援するケアシステム
安孫子忠彦*, 佐々木聡, 小山明夫(山形大), 成田徳雄 (米沢市立病院)

懇親会： [17:15 ~ 19:30]

(場所) 会津大学研究棟 344-F

研究会参加者：80名

懇親会参加者：48名

報告者：程 子学 (会津大学)

1.1.3 平成16年度第3回 研究会開催案内 (記事通番 04-22)

平成16年度第3回 情報処理学会東北支部研究会プログラム

日時：平成17年1月21日(金) 9:00 ~ 17:30

会場：岩手大学一祐会館 2階大会議室 (019-621-5313)

<http://www.cozmixng.org/~wsm/?ipsj-iwate>

プログラム

全27件, 発表時間: 12分, 質疑応答時間: 3分 (印は発表者)

セッション 1. (9:00 ~ 10:00) 座長: 今野 晃市 (岩手大学)

1 X線センサ画像のノイズを除去するLSI 向き手法

○飯田 修一, 田山 典男 (岩手大学)

2 産業用X線画像の多数決型セグメンテーションの実験

○阿部 大輔, 田山 典男 (岩手大学)

3 レベルセット法による物体境界面の生成法

○立花 直哉, 藤本 忠博, 千葉 則茂 (岩手大学)

4 Particle-based Simulation of Sand Deformation Caused by Wind Blowing

○Mamat Abdukadir, Mantimin Geni, Tadahiro Fujimoto and Norishige Chiba (岩手大学)

セッション 2: (10:15 ~ 11:15) 座長: 伊藤 智也 (八戸工大)

5 Real-time Rendering of Large-scaled Particle Cloud

○Gunjee Zorig, Sosorbaram Batjargal, Tadahiro Fujimoto and Norishige Chiba (岩手大学)

6 Visual Simulation of Wood Aging Based on Biological Deterioration

○Yin Xin, Tadahiro Fujimoto and Norishige Chiba (岩手大学)

7 View-Dependent Multiresolution Model for Trees

○Zhao Xing (NICT 招聘研究員), Tadahiro Fujimoto and Norishige Chiba (岩手大学)

8 Realistic Rendering of Breaking Waves

○Wang Qiang(NICT 招聘研究員), Tadahiro Fujimoto and Norishige Chiba (岩手大学)

セッション 3: (11:30 ~ 12:30) 座長: 藤本 忠博 (岩手大学)

9 CGのための破壊シミュレーションに関する研究

伊藤 智也 (八戸工大), 藤本 忠博, 千葉則茂 (岩手大学)

10 シャドウボリュームを利用した屋外のソフトシャドウ生成法の検討

村山 紀章, 今野 晃市 (岩手大学)

11 表裏モデルからの石器ソリッドモデル作成自動化

荷田 哲久, 今野 晃市, 千葉 史 (岩手大学), 徳山 喜政 (東京工芸大)

12 立体映像の距離知覚特性と遠隔操作システムへの応用に関する基礎的研究

亀井 陽介, 寺田 裕樹, 猿田 和樹, 武田 和時 (秋田県立大)

セッション 4: (13:00 ~ 14:00) 座長: 西谷 泰昭 (岩手大学)

13 インターネット列車座席予約システムの開発

速水 健一, 一ノ瀬 一志, 川島 裕章, 大堀 慧, 山内 崇弘 (仙台電波高専), 佐竹 正則, 五十嵐 武彦 (会津鉄道株式会社)

14 WWW コンテンツ変換ゲートウェイの開発 - テキスト変換 2 -

速水 健一 (仙台電波高専)

15 RDF を用いたグループ間スケジュール管理システムの開発

押野 敬之, 板橋 吾一, 高橋 薫, 加藤 靖 (仙台電波高専)

16 カルバック測度をエラー測度とするニューラルネットワーク文字認識能力の検討

阿部 容子, 藤木 なほみ (仙台電波高専)

セッション 5: (14:15 ~ 15:00) 座長: 恒川 佳隆 (岩手大学)

17 SH-3 搭載ボードへの TOPPERS/JSP カーネルの移植と TCP/IP プロトコルスタックの実装

新田 幸子, 栗山 大, 高橋 薫, 加藤 靖 (仙台電波高専)

18 TCP/IP プロトコルスタックの分散化と共有化

○倉部 伸治, 鈴木 正幸 (岩手大学)

19 デジタルロジック仕様の動作シミュレータ

和泉 諭, 山中 一宏, 加藤 靖, 高橋 薫 (仙台電波高専)

セッション 6: (15:15 ~ 16:15) 座長: 加藤 靖 (仙台電波高専)

20 冗長 2 進表現を用いた FPGA 向き高性能 RSA 暗号システムの構成
松岡 史門, 工藤 忠道, 恒川 佳隆 (岩手大学)

21 超並列 VLIW 計算機の実装に関する研究
門脇 正徒, 村上 武, 藤岡 豊太, 永田 仁史, 安倍 正人 (岩手大学)

22 拡張積項に基づいた ESOP 簡単化アルゴリズム
高橋 正敏, 平山 貴司, 西谷 泰昭 (岩手大学)

23 テスト容易な ESOP 回路とそのテスト集合
新屋敷 修平, 平山 貴司, 西谷 泰昭 (岩手大学)

セッション 7: 16:30 ~ 17:30 座長: 速水 健一 (仙台電波高専)

24 グレブナー基底と幾何の証明
○松本 譲, 鈴木 正幸 (岩手大学)

25 交通渋滞の発生と解消のプロセスに関する研究
鈴木 祥介, 谷口 正成, 高木 相 (東北文化学園大学)

26 交流磁場中における Jiles-Atherton ヒステリシスモデルの相転移
白根 崇, 海野 啓明 (仙台電波高専)

27 高次 WE-FDTD 法の並列計算による大規模電波伝搬解析
園田 潤 (仙台電波高専)

懇親会 18:00 より インシーズン (生協中央食堂 2 F, (内)5910)

問い合わせ先：

鈴木正幸 suzuki@cis.iwate-u.ac.jp

〒020-8551 盛岡市上田 4 - 3 - 5 岩手大学工学部情報システム工学科

TEL 019-621-6474

<http://www.cozmixng.org/~wsm/?ipsj-iwate>

1.1.4 平成 16 年度第 3 回 研究会開催報告 (記事通番 04-23)

日時：平成 17 年 1 月 21 日 (金) 9:00 ~ 17:30

会場：岩手大学一祐会館 2 階大会議室

発表件数：27 件

発表時間：12 分，質疑 3 分

<http://www.cozmixng.org/~wiliki/index.cgi?ipsj-iwate>

セッション 1. (9:00 ~ 10:00) 座長：今野 晃市 (岩手大学)

1 X線センサ画像のノイズを除去する L S I 向き手法

○飯田 修一，田山 典男 (岩手大学)

2 産業用 X 線画像の多数決型セグメンテーションの実験

○阿部 大輔，田山 典男 (岩手大学)

3 レベルセット法による物体境界面の生成法

○立花 直哉，藤本 忠博，千葉 則茂 (岩手大学)

4 Particle-based Simulation of Sand Deformation Caused by Wind Blowing

○Mamat Abdukadir, Mantimin Geni, Tadahiro Fujimoto and Norishige Chiba (岩手大学)

セッション 2: (10:15 ~ 11:15) 座長：伊藤 智也 (八戸工大)

5 Real-time Rendering of Large-scaled Particle Cloud

○Gunjee Zorig, Sosorbaram Batjargal, Tadahiro Fujimoto and Norishige Chiba (岩手大学)

6 Visual Simulation of Wood Aging Based on Biological Deterioration

○Yin Xin, Tadahiro Fujimoto and Norishige Chiba (岩手大学)

7 View-Dependent Multiresolution Model for Trees

○Zhao Xing (NICT 招聘研究員), Tadahiro Fujimoto and Norishige Chiba (岩手大学)

8 Realistic Rendering of Breaking Waves

○Wang Qiang(NICT 招聘研究員), Tadahiro Fujimoto and Norishige Chiba (岩手大学)

セッション 3: (11:30 ~ 12:30) 座長: 藤本 忠博 (岩手大学)

9 CGのための破壊シミュレーションに関する研究

伊藤 智也 (八戸工大), 藤本 忠博, 千葉則茂 (岩手大学)

10 シャドウボリュームを利用した屋外のソフトシャドウ生成法の検討

村山 紀章, 今野 晃市 (岩手大学)

11 表裏モデルからの石器ソリッドモデル作成自動化

荷田 哲久, 今野 晃市, 千葉 史 (岩手大学), 徳山 喜政 (東京工芸大)

12 立体映像の距離知覚特性と遠隔操作システムへの応用に関する基礎的研究

亀井 陽介, 寺田 裕樹, 猿田 和樹, 武田 和時 (秋田県立大)

セッション 4: (13:00 ~ 14:00) 座長: 西谷 泰昭 (岩手大学)

13 インターネット列車座席予約システムの開発

速水 健一, 一ノ瀬 一志, 川島 裕章, 大堀 慧, 山内 崇弘 (仙台電波高専), 佐竹 正則, 五十嵐 武彦 (会津鉄道株式会社)

14 WWW コンテンツ変換ゲートウェイの開発 - テキスト変換 2 -
速水 健一 (仙台電波高専)

15 RDF を用いたグループ間スケジュール管理システムの開発
押野 敬之, 板橋 吾一, 高橋 薫, 加藤 靖 (仙台電波高専)

16 カルバック測度をエラー測度とするニューラルネットワーク文字認識能力
の検討
阿部 容子, 藤木 なほみ (仙台電波高専)

セッション 5: (14:15 ~ 15:00) 座長: 恒川 佳隆 (岩手大学)

17 SH-3 搭載ボードへの TOPPERS/JSP カーネルの移植と TCP/IP プロトコルスタック
の実装
新田 幸子, 栗山 大, 高橋 薫, 加藤 靖 (仙台電波高専)

18 TCP/IP プロトコルスタックの分散化と共有化
○倉部 伸治, 鈴木 正幸 (岩手大学)

19 デジタルロジック仕様の動作シミュレータ
和泉 諭, 山中 一宏, 加藤 靖, 高橋 薫 (仙台電波高専)

セッション 6: (15:15 ~ 16:15) 座長: 加藤 靖 (仙台電波高専)

20 冗長 2 進表現を用いた FPGA 向き高性能 RSA 暗号システムの構成
松岡 史門, 工藤 忠道, 恒川 佳隆 (岩手大学)

21 超並列 VLIW 計算機の実装に関する研究
門脇 正徒, 村上 武, 藤岡 豊太, 永田 仁史, 安倍 正人 (岩手大学)

22 拡張積項に基づいた ESOP 簡単化アルゴリズム
高橋 正敏, 平山 貴司, 西谷 泰昭 (岩手大学)

23 テスト容易な ESOP 回路とそのテスト集合
新屋敷 修平, 平山 貴司, 西谷 泰昭 (岩手大学)

セッション 7: 16:30 ~ 17:30 座長: 速水 健一 (仙台電波高専)

24 グレブナー基底と幾何の証明
○松本 譲, 鈴木 正幸 (岩手大学)

25 交通渋滞の発生と解消のプロセスに関する研究
鈴木 祥介, 谷口 正成, 高木 相 (東北文化学園大学)

26 交流磁場中における Jiles-Atherton ヒステリシスモデルの相転移
白根 崇, 海野 啓明 (仙台電波高専)

27 高次 WE-FDTD 法の並列計算による大規模電波伝搬解析
園田 潤 (仙台電波高専)

懇親会 18:00 より インシーズン (生協中央食堂 2 F, (内)5910)

研究会参加者: 85 名

懇親会: 18:00 より 生協中央食堂 2 F

懇親会参加者: 20 名

報告者: 鈴木正幸 (岩手大学)

1.1.5 平成 16 年度第 4 回 研究会開催 (発表論文募集) 案内 (記事通番 04-24)

日時: 平成 17 年 2 月 28 日(月) 10:00 ~

会場: 弘前大学工学部 1 号館 4 階 第 8 講義室

(〒036-8561 弘前市文京町 3 番地)

発表申込締切: 平成 17 年 2 月 14 日(月)

発表申込先 : 〒036-8561 弘前市文京町 3 番地
弘前大学工学部電子情報システム工学科
水田 智史
E-mail: slmizu@cc.hirosaki-u.ac.jp
TEL: 0172-39-3657
(できるだけ E-mail でお願いします)

備考 :

1. 発表ご希望の方は、発表題目、著者名(登壇者に)、連絡先、発表用機材 (OHP・プロジェクタ等)を明記の上お申し込みください。
2. 発表時間は、質疑を含めて 25 分程度とします(申込件数によって若干の変動があります)。
3. 発表者は、発表論文概要 40 部を当日持参してください。
4. 研究会終了後に懇親会を予定しておりますので、是非こちらにもご参加をお願いいたします。ご案内は後日あらためていたします。

1.1.6 平成 16 年度第 4 回 研究会開催報告 (記事通番 04-25)

平成 16 年度第 4 回 情報処理学会東北支部研究会 開催報告

日時 : 平成 17 年 2 月 28 日(月) 10:00 ~ 16:05

会場 : 弘前大学工学部 1 号館 4 階 第 8 講義室

(〒036-8561 弘前市文京町 3 番地)

発表件数 : 11 件

発表時間 : 発表 20 分 質疑応答 5 分

[セッション 1] 10:00 - 11:40 座長 水田 智史 (弘前大学)

1. 原核生物における膜貫通タンパク質遺伝子ダブレットの解析
大谷 一太郎、水田 智史、清水 俊夫 (弘前大学)

2. 膜貫通タンパク質機能の分類および同定における膜貫通トポロジー情報活用の有効性
奥村 宏輔(1)、新居 真吏(1,2)、清水 俊夫(1)
(1)弘前大学 (2)東北大学
3. 膜貫通トポロジー類似性を用いた真核膜貫通タンパク質の網羅的機能分類・同定
吉田 秀一(1)、新居 真吏(1,2)、奥村 宏輔(1)、清水 俊夫(1)
(1)弘前大学 (2)東北大学
4. 1回貫通型膜タンパク質におけるドメイン・アーキテクチャー
新居 真吏(1,2)、福士 貴文(1)、佐竹 正延(2)、清水 俊夫(1)
(1)弘前大学 (2)東北大学

[セッション 2] 13:00 - 14:40 座長 高橋 良英 (八戸工業大学)

5. 巡回セールスマン問題を遺伝的アルゴリズムにより解く場合の遺伝子交叉オペレータ交代方式によるオンライン性能改善施策
出貝 賢一、高橋 良英 (八戸工業大学)
6. ニューラルネットワークによる風況の短期時系列予測
星 文伸、松坂 知行 (八戸工業大学)
7. 遺伝的アルゴリズムによる画像の顔の位置判定に関する基礎的検討
宮城 吉一、松坂 知行 (八戸工業大学)
8. ROI を用いた JPEG2000 動画配信圧縮方法
朝井 公教(1)、瀧ヶ平 将行(2)、一條 健司(1)、吉岡 良雄(1)
(1)弘前大学 (2)(株)メイテック

[セッション 3] 14:50 - 16:05 座長 水田 智史 (弘前大学)

9. 膜貫通ヘリックスにおけるアミノ酸の保存性
浜田 悟史(1)、西尾 卓広(2)、清水 俊夫(1)
(1) 弘前大学 (2) 浜松医科大学

10. 膜貫通ヘリックス領域のマルチプルアライメント

太田 照幸(1)、木村 隆雄(2)、西尾 卓広(3)、清水 俊夫(1)

(1)弘前大学 (2)青森中央学院大学 (3)浜松医科大学

11. 7回貫通型膜タンパク質の予測の現状と GPCR 網羅的機能分類・同定

井上 泰仁、清水 俊夫 (弘前大学)

参加者：30名

報告者：水田 智史 (弘前大学)

1.1.7 平成16年度第5回 研究会開催 (発表論文募集) 案内 (記事通番 04-26)

情報処理学会東北支部研究会

日 時：平成17年3月8日(火)

会 場：宮城大学本部棟400講義室

(〒981-3298 宮城県黒川郡大和町学苑1番)

発表申込締切：平成17年2月21日(月)

発表申込先：(電子メールでお申し込みください)

〒981-3298 宮城県黒川郡大和町学苑1番

宮城大学 事業構想学部 デザイン情報学科

富樫 敦 (責任者)

大益 知佳 (事務担当者)

E-mail oeki@myu.ac.jp

TEL 022-377-8353

FAX 022-377-8353

備 考：

発表ご希望の方は、講演申込期日(2月21日)までに、発表題目、登壇者名(頭に 印)と連名者名、連絡先、発表用機材(OHP, プロジェクタ, ビデオ等)を明記の上、お申し込み下さい。

なお，終了後，懇親会を予定しておりますので，申込の折に懇親会参加の有無もお知らせ下さい．

また，研究会と同時開催で研究講演会（野口正一先生：仙台応用情報学研究振興財団理事長，前会津大学学長，東北大学名誉教授）他を予定しております．

研究会の情報は，

<http://www.myu.ac.jp/~togashi/conf/ipsj-tohoku05/>
に掲載していく予定です．ご利用ください．

1.1.8 平成 16 年度第 5 回 研究会開催案内（記事通番 04-27）

平成 16 年度第 5 回 情報処理学会東北支部研究会プログラム

日時：平成 17 年 3 月 8 日（火）

会場：宮城大学本部棟 400 講義室

（〒981-3298 宮城県黒川郡大和町学苑 1 番）

<http://www.myu.ac.jp/~togashi/conf/ipsj-tohoku05/>

プログラム

（発表 15 分，質疑：5 分）

開会

セッション 1：情報基礎と CG（10:00～11:00）

座長：高橋淳也（宮城大学）

(1) 級数の和 $\sum_{k=0}^n k^m(n-k)^m$ と数値積分公式への応用

海野啓明（仙台電波高専）

(2) 雪氷現象の簡便な CG シミュレーション法

阿部茂，朱朝江，村岡一信（東北工大）

- (3) 区分化とクラスタリングによるセグメント探索の高速化
杉山雅英（会津大）

セッション2：ネットワーク（11:10～12:10）

座長：秋月治（宮城大）

- (4) ネットワークを用いた汎用型事業評価システム
佐久間信行，秋月治（宮城大）

- (5) Exhaustive MAC: Efficient QoS Mechanisms for IEEE 802.11 Based
Wireless Mobile Ad Hoc Networks
Zalal Uddin Mohammad Abusina, Takuo Suganuma,
Norio Shiratori（東北大）

- (6) MobileIPv6 環境における移動体通信の継続的監視のための
Polling System の設計と実装
増田尚則，北形元，菅沼拓夫（東北大），
キニ・グレン・マンズフィールド（サイバーソリューション），
白鳥則郎（東北大）

昼食（12:10～13:10）

セッション3：特別講演（13:10～14:10）

座長：富樫敦（宮城大）

「次世代情報・通信技術発展のために」

野口正一（仙台応用情報学研究振興財団理事長，
前会津大学学長，東北大学名誉教授）

（講演概要）

日本の情報・通信技術は情報家電分野の急速な発展に支えられ，元気を取り戻した．しかし，IT 全体の各分野における日本の復活は国際的なレベルで

見て十分可能なのであろうか。現状のままでは極めて難しい。

本報告ではこの問題解決のため、情報・通信技術を5段階の階層でモデル化し、この上で新しい具体的なIT戦略のあり方について述べる。

休憩（14:10～14:20）

セッション4：セマンティックウェブと健康管理（14:20～16:00）

座長：加藤靖（仙台電波高専）

(7) 宮城県内の病院で感染管理に携わる看護師のネットワーク構想について
大須賀ゆか（宮城大）

(8) ネットワークシステムを用いた健康教育における効果と課題について
吉田俊子（宮城大）

(9) エージェントと携帯端末を利用した介護スケジュール支援システム
千葉美貴子，板橋吾一，高橋薫，加藤靖（仙台電波高専）

(10) 健康に関する領域オントロジの構築について
大益知佳（応情研），板橋吾一（サイエンティア），富樫敦（宮城大）

(11) オントロジ上の推論機構と推論エンジンの設計開発
湯本純也，大益知佳，藤村幸平，富樫敦（宮城大）

休憩（16:00～16:20）

セッション4：情報システム（16:20～17:40）

座長：宮西洋太郎

(12) 組み込み用ボードを用いた脳波コンピュータインターフェースの開発
大山直人，石澤一紀，千葉慎二（仙台電波高専）

(13) TRMIにおけるローカルメソッドのスレッド制御機能の実現
加藤剛彦，杉山安洋（日本大）

(14) CD ブート Linux を用いたキャンパスグリッドの構築とマルチジョブ法による
FDTD 並列計算の負荷分散特性

木村功児, 園田潤 (仙台電波高専)

(15) ビジネス系情報システム構築におけるモデリングについての考察

宮西洋太郎 (宮城大)

懇親会 : 研究交流会 (18:00 ~ 19:30)

(詳細情報は後日ご連絡致します .)

問い合わせ先 :

〒981-3298 宮城県黒川郡大和町学苑 1 番

宮城大学 事業構想学部 デザイン情報学科

富樫 敦 (責任者)

大益 知佳 (事務担当者)

E-mail oeki@myu.ac.jp, togashi@myu.ac.jp

TEL 022-377-8353

FAX 022-377-8353

1.1.9 平成 16 年度第 5 回 研究会開催報告 (記事通番 04-28)

平成 16 年度第 5 回 情報処理学会東北支部研究会 開催報告

日時 : 平成 17 年 3 月 8 日 (火) 10:00 ~ 17:40

会場 : 宮城大学本部棟 4 0 0 講義室

(〒981-3298 宮城県黒川郡大和町学苑 1 番)

Web Page : <http://www.myu.ac.jp/~togashi/conf/ipsj-tohoku05/>

発表件数 : 研究発表 15 件 , 特別講演 1 件

発表時間 : 発表 15 分 質疑応答 5 分 (研究発表)

セッション 1 : 情報基礎と CG (10:00 ~ 11:00)

座長 : 高橋淳也 (宮城大学)

- (1) 級数の和 $\sum_{k=0}^n k^m(n-k)^m$ と数値積分公式への応用
海野啓明 (仙台電波高専)
- (2) 雪氷現象の簡便な CG シミュレーション法
阿部茂, 朱朝江, 村岡一信 (東北工大)
- (3) 区分化とクラスタリングによるセグメント探索の高速化
杉山雅英 (会津大)

セッション 2 : ネットワーク (11:10 ~ 12:10)

座長 : 秋月治 (宮城大)

- (4) ネットワークを用いた汎用型事業評価システム
佐久間信行, 秋月治 (宮城大)
- (5) Exhaustive MAC: Efficient QoS Mechanisms for IEEE 802.11 Based
Wireless Mobile Ad Hoc Networks
Zalal Uddin Mohammad Abusina, Takuo Suganuma,
Norio Shiratori (東北大)
- (6) MobileIPv6 環境における移動体通信の継続的監視のための
Polling System の設計と実装
増田尚則, 北形元, 菅沼拓夫 (東北大),
キニ・グレン・マンズフィールド (サイバーソリューション),
白鳥則郎 (東北大)

セッション 3 : 特別講演 (13:10 ~ 14:10)

座長 : 富樫敦 (宮城大)

「次世代情報・通信技術発展のために」

野口正一 (仙台応用情報学研究振興財団理事長,
前会津大学学長, 東北大学名誉教授)

(講演概要)

日本の情報・通信技術は情報家電分野の急速な発展に支えられ、元気を取り戻した。しかし、IT全体の各分野における日本の復活は国際的なレベルで見て十分可能なのであろうか。現状のままでは極めて難しい。

本報告ではこの問題解決のため、情報・通信技術を5段階の階層でモデル化し、この上で新しい具体的なIT戦略のあり方について述べる。

セッション4：セマンティックウェブと健康管理（14:20～16:00）

座長：加藤靖（仙台電波高専）

- (7) 宮城県内の病院で感染管理に携わる看護師のネットワーク構想について
大須賀ゆか（宮城大）
- (8) ネットワークシステムを用いた健康教育における効果と課題について
吉田俊子（宮城大）
- (9) エージェントと携帯端末を利用した介護スケジュール支援システム
千葉美貴子，板橋吾一，高橋薫，加藤靖（仙台電波高専）
- (10) 健康に関する領域オントロジの構築について
大益知佳（応情研），板橋吾一（サイエンティア），富樫敦（宮城大）
- (11) オントロジ上の推論機構と推論エンジンの設計開発
湯本純也，大益知佳，藤村幸平，富樫敦（宮城大）

セッション4：情報システム（16:20～17:40）

座長：宮西洋太郎

- (12) 組み込み用ボードを用いた脳波コンピュータインターフェースの開発
大山直人，石澤一紀，千葉慎二（仙台電波高専）
- (13) TRMIにおけるローカルメソッドのスレッド制御機能の実現
加藤剛彦，杉山安洋（日本大）

(14) CD ブート Linux を用いたキャンパスグリッドの構築とマルチジョブ法による
FDTD 並列計算の負荷分散特性

木村功児, 園田潤 (仙台電波高専)

(15) ビジネス系情報システム構築におけるモデリングについての考察

宮西洋太郎 (宮城大)

参加者 : 約 60 名

懇親会 : 18:00 より宮城大学生協食堂にて開催

報告者 : 富樫 敦 (宮城大学)

1.1.10 平成 16 年度第 6 回 研究会開催 (発表論文募集) 案内 (記事通番 04-29)

情報処理学会東北支部平成 16 年度 研究会 (山形大学)

日時 : 平成 17 年 3 月 10 日 (木)

会場 : 山形大学工学部 (電情系 7-320 室他を予定)

(992-8510 山形県米沢市城南 4 丁目 3 - 1 6)

発表申込締め切り : 平成 17 年 2 月 28 日 (月) 午後 5 時まで

なるべく電子メールでお申し込み下さい

発表申込先 :

〒992-8510 山形県米沢市城南 4 丁目 3 - 1 6

山形大学工学部情報科学科

武田利浩

e-mail: takeda@yz.yamagata-u.ac.jp

Fax: 0238-26-3349 (情報科学科 武田利浩宛)

(Tel: 0238-26-3349 FAX 兼用)

備考 :

1. 申込み時に必要な項目等 : 発表題目 , 著者名 (登壇者に 印) , 所属 , 連絡先 (Email または Fax 番号) , 発表用機材 (OHP ・ プロジェクタ等を明記) .

2. 発表原稿（8頁以内）は必要部数（40部）コピーして発表当日会場にお持ちいただければよく、原稿の書き方は申込みをされた方にのみ後日発表プログラムと共にお送り致します。
3. 申込みをされた方には、必ず確認のための電子メールか或いはファックスをお送り致します。
4. 懇親会：研究会終了後に開催する予定です。

1.1.11 平成16年度第6回 研究会開催案内（記事通番 04-30）

平成16年度第6回 情報処理学会東北支部研究会プログラム

開催期日：平成17年3月10日（木） 09:30～17:05

開催場所：山形大学工学部（7-320（I教）および7-307、受付7-325）
（〒992-8510 米沢市城南4-3-16）

懇親会：17:30より学内のゲストハウス YU で開催します（参加費無料）

午前 A1（A会場,7-320）（9:30～10:38）（座長：近藤和弘）

A1-1. 類義概念を用いた反義対の分類

三戸部矩倫, 横山晶一(山形大)

A1-2. 編集機能を備えたタグ付きコーパス

見年代茂大, 横山晶一(山形大)

A1-3. 日本語話し言葉コーパスの形態素解析

加藤正治, 小坂哲夫, 好田正紀(山形大)

A1-4. 日本語話し言葉コーパスを用いた講演音声認識の性能評価

阿部拓也, 小坂浩之, 武田千春, 加藤正治, 小坂哲夫, 好田正紀(山形大)

午前 A2（A会場,7-320）（10:50～11:58）（座長：横山晶一）

A2-1. 分散音声認識システムにおける話者ベクトルを用いた話者識別の検討

松本和樹, 山本明祥, 加藤正治, 小坂哲夫, 好田正紀(山形大)

A2-2. 二者択一式日本語理解度試験法の低域通過特性の検討

藤森雅也, 近藤和弘, 中川清司(山形大)

A2-3. 符号化方式に依存しない音響信号用電子透かし方式の評価
竹花進悟, 近藤和弘, 中川清司(山形大)

A2-4. 時系列の歪み一定区分化法
杉山雅英(会津大)

午後 A3 (A 会場, 7-320) (13:00 ~ 13:51) (座長: 工藤喜弘)

A3-1. コラーゲンゲルの収縮によって発生する張力の経時変化
石橋牧子, 馮忠剛, 中村孝夫, 北嶋龍雄(山形大)

A3-2. 培養細胞によるコラーゲンゲルの収縮特性
真家未妃, 馮忠剛, 中村孝夫, 北嶋龍雄(山形大)

A3-3. パーセプトロンの線形分離不可能問題に対する一解法
渡辺雄二(山形県立産業技術短大), 北嶋龍雄(山形大), 原田憲一(京都造形芸術大)

午後 A4 (A 会場, 7-320) (14:00 ~ 15:08) (座長: 馮忠剛)

A4-1. 神経回路網で見られる 振動シフトのモデリング
久保貴嗣, 北嶋龍雄, 久保田繁(山形大)

A4-2. スピンドル波生成への GABA 受容体チャンネルの寄与
北嶋龍雄, 古川涼子(山形大)

A4-3. ゲノム DNA からの tRNA および rRNA 遺伝子候補検出への特性タンデム法の応用
平尾健一, 木ノ内誠, 工藤喜弘(山形大)

A4-4. 同期発光するマイコンホタルの製作
木村宏人, 江口正道(山形県立産業技術短大)

午後 A5 (A 会場, 7-320) (15:20 ~ 16:45) (座長: 田中敦)

A5-1. IPv6 個別経路制御の研究
吉田晃久, 平中幸雄, 武田利浩(山形大)

A5-2. 階層型アドホックルーティングの研究
垣根弘行, 平中幸雄, 武田利浩(山形大)

A5-3. センサーネットワークのためのハイブリッド型 MAC プロトコル

原田敬三(山形大), 荒井順平(山形県立産業技術短大), 小山明夫(山形大)

A5-4. 電力残量と遅延を考慮したアドホックネットワークのための QoS ルーティングプロトコル

高澤真之(山形大), 荒井順平(山形県立産業技術短大), 小山明夫(山形大)

A5-5. Performance Comparison of Media Access Control Protocols for Robot Communication

荒井順平(山形県立産業技術短大), 小山明夫(山形大), バロリ・レオナルド(福岡工大)

午前 B1 (B 会場, 7-307) (9:30 ~ 10:55) (座長: 古閑敏夫)

B1-1. C 言語の構文を生かしたハードウェア記述の方法論

三上昌彦, 後藤源助, 多田十兵衛(山形大)

B1-2. ハードウェアとソフトウェアの分割手法

小笠原良, 後藤源助(山形大)

B1-3. SpecC 用テストベンチ生成ツールの作成

杉本和重, 多田十兵衛, 後藤源助(山形大)

B1-4. JPEG2000 のためのウェーブレット変換実現方法

寒河江俊明, 多田十兵衛, 後藤源助(山形大)

B1-5. 画像処理向け演算器の検討

宮川達郎, 多田十兵衛, 後藤源助(山形大)

午前 B2 (B 会場, 7-307) (11:05 ~ 11:56) (座長: 武田利浩)

B2-1. 特徴量による道路網の比較考察

齋藤友之, 津谷篤, 田中敦(山形大)

B2-2. 学校給食アレルギー情報提供システムの試作

木村宏人, 工藤香織, 松田知彦, 多田琢実(山形県立産業技術短大)

B2-3. モバイルオブジェクトのためのグルーピング機能を持ったリモートメソッド呼び出しフレームワークの研究

伊藤祥, 杉山安洋(日本大)

午後 B3 (B 会場, 7-307) (13:00 ~ 14:08) (座長: 小山明夫)

B3-1. WWW コンテンツ変換ゲートウェイの開発 -公開者側の立場からの利用-

速水健一, 及川公禎, 佐藤公男(仙台電波高専)

B3-2. ADI FDTD 法と FDTD 法の並列計算による電波伝搬のリアルタイム可視化

古賀雅典, 園田潤, 木村功児(仙台電波高専)

B3-3. Globus を導入した CD Linux によるキャンパスグリッドの構築と電波伝搬解析への応用

鈴木研太, 木村功児, 園田潤(仙台電波高専)

B3-4. Linux 版 VC Player の開発

三浦永太郎, 杉山雅英(会津大)

午後 B4 (B 会場, 7-307) (14:20 ~ 15:28) (座長: 後藤源助)

B4-1. 輪郭モデルに基づく動画像からの人物領域抽出

松崎慧介, 目黒光彦, 古閑敏夫(山形大)

B4-2. 海洋の音速分布の画像再構成法に関する研究 - 三角格子標本化による再構成法の提案 -

矢島邦昭(仙台電波高専), 田山典男(岩手大)

B4-3. 超音波を用いた液体の音速分布画像の再構成に関する基礎実験

八重倉将志, 矢島邦昭, 菅原直志(仙台電波高専)

B4-4. Level Set Method を用いた画像からの領域抽出とパラメータ設定に関する研究

今野幸貴, 北島宏之(宮城高専)

午後 B5 (B 会場, 7-307) (15:40 ~ 17:05) (座長: 目黒光彦)

B5-1. 4次元折り紙とそのCG表現 -- 4次元折り紙の立体視表現 --

井上亮, 鈴木伸輔, 海野啓明, 矢島邦昭(仙台電波高専)

B5-2. CG を用いた生け花シミュレータの開発 --花材の成長と立体視表現--
勝又直樹, 庄子佳織, 海野啓明, 矢島邦昭(仙台電波高専)

B5-3. CG による折り紙建築 --制作支援エディターの開発--
金野隼人, 伊藤和嘉, 海野啓明, 矢島邦昭(仙台電波高専)

B5-4. コンピュータグラフィックスによる人体の表現手法
原邦生臣, 深見忠典, 湯浅哲也, 赤塚孝雄(山形大)

B5-5. 野球の投球動作におけるワインドアップ投法およびセット投法の3次元比較研究
神守良, 富樫時子, 湯浅哲也, 赤塚孝雄(山形大)

お問い合わせ先:

〒992-8510 山形県米沢市城南4丁目3-16

山形大学工学部情報科学科

武田利浩

e-mail: takeda@yz.yamagata-u.ac.jp

Fax: 0238-26-3349 (情報科学科 武田利浩宛)

(Tel: 0238-26-3349 FAX 兼用)

1.1.12 平成16年度第6回 研究会開催報告 (記事通番 04-31)

情報処理学会東北支部平成16年度第6回研究会 開催報告

開催期日: 平成17年3月10日(木) 09:30~17:05

開催場所: 山形大学工学部(7-320(I教)および7-307、受付7-325)

(〒992-8510 米沢市城南4-3-16)

発表件数: 40件

発表時間: 12分、質疑5分

午前 A1 (A会場, 7-320) (9:30~10:38) (座長: 近藤和弘)

A1-1. 類義概念を用いた反義対の分類

三戸部矩倫, 横山晶一(山形大)

A1-2. 編集機能を備えたタグ付きコーパス

見年代茂大, 横山晶一(山形大)

A1-3. 日本語話し言葉コーパスの形態素解析

加藤正治, 小坂哲夫, 好田正紀(山形大)

A1-4. 日本語話し言葉コーパスを用いた講演音声認識の性能評価

阿部拓也, 小坂浩之, 武田千春, 加藤正治, 小坂哲夫, 好田正紀(山形大)

午前 A2 (A 会場, 7-320) (10:50 ~ 11:58) (座長: 横山晶一)

A2-1. 分散音声認識システムにおける話者ベクトルを用いた話者識別の検討

松本和樹, 山本明祥, 加藤正治, 小坂哲夫, 好田正紀(山形大)

A2-2. 二者択一式日本語理解度試験法の低域通過特性の検討

藤森雅也, 近藤和弘, 中川清司(山形大)

A2-3. 符号化方式に依存しない音響信号用電子透かし方式の評価

竹花進悟, 近藤和弘, 中川清司(山形大)

A2-4. 時系列の歪み一定区分化法

杉山雅英(会津大)

午後 A3 (A 会場, 7-320) (13:00 ~ 13:51) (座長: 工藤喜弘)

A3-1. コラーゲンゲルの収縮によって発生する張力の経時変化

石橋牧子, 馮忠剛, 中村孝夫, 北嶋龍雄(山形大)

A3-2. 培養細胞によるコラーゲンゲルの収縮特性

真家未妃, 馮忠剛, 中村孝夫, 北嶋龍雄(山形大)

A3-3. パーセプトロンの線形分離不可能問題に対する一解法

渡辺雄二(山形県立産業技術短大), 北嶋龍雄(山形大), 原田憲一(京都造形芸術大)

午後 A4 (A 会場, 7-320) (14:00 ~ 15:08) (座長: 馮忠剛)

A4-1. 神経回路網で見られる 振動シフトのモデリング

久保貴嗣, 北嶋龍雄, 久保田繁(山形大)

A4-2. スピンドル波生成への GABA 受容体チャンネルの寄与

北嶋龍雄, 古川涼子(山形大)

A4-3. ゲノム DNA からの tRNA および rRNA 遺伝子候補検出への特性タンデム法の応用

平尾健一, 木ノ内誠, 工藤喜弘(山形大)

A4-4. 同期発光するマイコンホタルの製作

木村宏人, 江口正道(山形県立産業技術短大)

午後 A5 (A 会場,7-320) (15:20 ~ 16:45) (座長: 田中敦)

A5-1. IPv6 個別経路制御の研究

吉田晃久, 平中幸雄, 武田利浩(山形大)

A5-2. (発表取り消し)

A5-3. センサーネットワークのためのハイブリッド型 MAC プロトコル

原田敬三(山形大), 荒井順平(山形県立産業技術短大), 小山明夫(山形大)

A5-4. 電力残量と遅延を考慮したアドホックネットワークのための QoS ルーティングプロトコル

高澤真之(山形大), 荒井順平(山形県立産業技術短大), 小山明夫(山形大)

A5-5. Performance Comparison of Media Access Control Protocols for Robot Communication

荒井順平(山形県立産業技術短大), 小山明夫(山形大), バロリ・レオナルド(福岡工大)

午前 B1 (B 会場,7-307) (9:30 ~ 10:55) (座長: 古閑敏夫)

B1-1. C 言語の構文を生かしたハードウェア記述の方法論

三上昌彦, 後藤源助, 多田十兵衛(山形大)

B1-2. ハードウェアとソフトウェアの分割手法

小笠原良, 後藤源助(山形大)

B1-3. SpecC 用テストベンチ生成ツールの作成

杉本和重, 多田十兵衛, 後藤源助(山形大)

B1-4. JPEG2000 のためのウェーブレット変換実現方法

寒河江俊明, 多田十兵衛, 後藤源助(山形大)

B1-5. 画像処理向け演算器の検討

宮川達郎, 多田十兵衛, 後藤源助(山形大)

午前 B2 (B 会場,7-307) (11:05 ~ 11:56) (座長: 武田利浩)

B2-1. 特徴量による道路網の比較考察

齋藤友之, 津谷篤, 田中敦(山形大)

B2-2. 学校給食アレルギー情報提供システムの試作

木村宏人, 工藤香織, 松田知彦, 多田琢実(山形県立産業技術短大)

B2-3. モバイルオブジェクトのためのグルーピング機能を持ったリモートメソッド呼び出しフレームワークの研究

伊藤祥, 杉山安洋(日本大)

午後 B3 (B 会場,7-307) (13:00 ~ 14:08) (座長: 小山明夫)

B3-1. WWW コンテンツ変換ゲートウェイの開発 -公開者側の立場からの利用-

速水健一, 及川公禎, 佐藤公男(仙台電波高専)

B3-2. ADI FDTD 法と FDTD 法の並列計算による電波伝搬のリアルタイム可視化

古賀雅典, 園田潤, 木村功児(仙台電波高専)

B3-3. Globus を導入した CD Linux によるキャンパスグリッドの構築と電波伝搬解析への応用

鈴木研太, 木村功児, 園田潤(仙台電波高専)

B3-4. Linux 版 VC Player の開発

三浦永太郎, 杉山雅英(会津大)

午後 B4 (B 会場,7-307) (14:20 ~ 15:28) (座長: 後藤源助)

B4-1. 輪郭モデルに基づく動画像からの人物領域抽出

松崎慧介, 目黒光彦, 古閑敏夫(山形大)

B4-2. 海洋の音速分布の画像再構成法に関する研究 - 三角格子標本化による再構成法の提案 -

矢島邦昭 (仙台電波高専) , 田山典男 (岩手大)

B4-3. 超音波を用いた液体の音速分布画像の再構成に関する基礎実験

八重倉将志, 矢島邦昭, 菅原直志 (仙台電波高専)

B4-4. Level Set Method を用いた画像からの領域抽出とパラメータ設定に関する研究

今野幸貴, 北島宏之(宮城高専)

午後 B5 (B 会場,7-307) (15:40 ~ 17:05) (座長: 目黒光彦)

B5-1. 4次元折り紙とそのCG表現 -- 4次元折り紙の立体視表現--

井上亮, 鈴木伸輔, 海野啓明, 矢島邦昭(仙台電波高専)

B5-2. CG を用いた生け花シミュレータの開発 --花材の成長と立体視表現--

勝又直樹, 庄子佳織, 海野啓明, 矢島邦昭(仙台電波高専)

B5-3. CG による折り紙建築 --制作支援エディターの開発--

金野隼人, 伊藤和嘉, 海野啓明, 矢島邦昭(仙台電波高専)

B5-4. コンピュータグラフィックスによる人体の表現手法

原邦生臣, 深見忠典, 湯浅哲也, 赤塚孝雄(山形大)

B5-5. 野球の投球動作におけるワインドアップ投法およびセット投法の3次元的比較研究

神守良, 富樫時子, 湯浅哲也, 赤塚孝雄(山形大)

懇親会：17:30 より工学部会館 2 階で開催

研究会参加者：63 名

懇親会参加者：約 50 名

報告者：平中幸雄（山形大学工学部）

2. 研究講演会のご案内

1.2.1 第 3 1 2 回研究講演会開催報告（記事通番 04-32）

情報処理学会東北支部特別講演会報告

日時：2005 年 1 月 24 日（月）13：00 - 14：00

場所：東北大学大学院情報科学研究科 電気情報系 2 号館 403 号室

演題：Semilinear Sets and Their Applications

講師：台湾国立大学 教授 Hsu-Chun Yen 氏

概要：

Semilinear sets are exactly those that can be expressed by Presburger Arithmetic. As many interesting problems concerning Presburger Arithmetic (including membership, equivalence and containment) are decidable, semilinear sets have found interesting applications in a variety of areas in computer sciences. In this talk, we first survey some of the properties and results concerning semilinear sets, and then see how they can be applied to the analysis of concurrent systems. In the second part of this talk, we focus on a restricted class called upward-closed sets. Although it is known that any upward-closed set exhibits a finite number of minimal elements, such elements, however, may not be computable in general. We demonstrate conditions under which the set of minimal elements of an upward-closed set is not only computable, but more importantly, a bound for the size of the minimal elements can also be deduced. Some applications regarding this characterization of upward-closed sets are given.

講演報告：

講演後は多数の質問が寄せられ、活発な質疑応答が行われた。講師の Yen 教授からの回答に加えて参加者の方からも貴重なコメントを頂くなど、大変充実した内容であった。

参加者：約 30 名

報告者：西関 隆夫

東北大学 大学院情報科学研究科

〒980-8579 仙台市青葉区荒巻字青葉 6-6-05

TEL: 022-217-7162 FAX: 022-263-9301

1.2.2 第313回研究講演会開催案内 (記事通番 04-33)

支部研究講演会

日時：2005年1月25日(火) 14時00分～15時30分

場所：仙台応用情報学研究振興財団 会議室(1F)

〒980-0012 仙台市青葉区錦町1-5-1 N-oval ビル4F

TEL 022-212-5015

FAX 022-212-5016

講師：産業技術総合研究所 情報技術研究部門 和泉憲明 氏

演題：「産総研におけるセマンティックコンピューティングプロジェクト」

(セマンティック Web 関連の取り組みの紹介やその概説, デモなど)

概要：

本講演では、産業技術総合研究所にて取り組んでいるセマンティック Web 研究の最新成果と、その応用に関してデモを交えて解説する。産業技術総合研究所では、情報循環のプラットフォームを確立するという観点から、セマンティック Web 研究へアプローチしている。具体的には、自然言語処理と知識工学の研究成果を、HTML を出発点とした Web コンテンツへ適用し、セマンティックコンピューティングとして展開している。

<http://staff.aist.go.jp/n.izumi/>

問い合わせ先：

〒981-3298 宮城県黒川郡大和町学苑1番

宮城大学 事業構想学部 デザイン情報学科

富樫 敦 (責任者)

大益 知佳 (事務担当者)

E-mail oeaki@myu.ac.jp

TEL 022-377-8353

FAX 022-377-8353

1.2.3 第313回研究講演会開催報告 (記事通番 04-34)

情報処理学会東北支部学術講演会報告

日時：2005年1月15日(火) (14:00～15:30)

場所：仙台応用情報学研究振興財団 会議室(1F)

講師：産業技術総合研究所 情報技術研究部門 和泉憲明 氏

演題：「産総研におけるセマンティックコンピューティングプロジェクト」
(セマンティック Web 関連の取り組みの紹介やその概説, デモなど)

講演内容：

本講演では、産業技術総合研究所にて取り組んでいるセマンティック Web 研究の最新成果と、その応用に関してデモを交えて解説する。産業技術総合研究所では、情報循環のプラットフォームを確立するという観点から、セマンティック Web 研究へアプローチしている。具体的には、自然言語処理と知識工学の研究成果を、HTML を出発点とした Web コンテンツへ適用し、セマンティックコンピューティングとして展開している。

(<http://staff.aist.go.jp/n.izumi/>)

参加者：約 15 名

報告者：富樫 敦

〒981-3298 宮城県黒川郡大和町学苑 1 番
宮城大学 事業構想学部 デザイン情報学科
TEL 022-377-8353

1.2.4 第314回研究講演会開催案内 (記事通番 04-35)

情報処理学会東北支部講演会

共催：東北大学電気情報系コンピュータサイエンス研究会

下記の通り講演会を開催いたしますので、ご自由に聴講ください。

日時：2005年2月9日(水) 15:00 - 16:00

会場：東北大学工学部電気情報系 2号館 4階 403号室

題目：

Subexponential-time framework for optimal embeddings of graphs in integer lattices

講演者

Professor Andrzej Lingas

Department of Computer Science

Lund University

Sweden

BSTRACT:

We present a general framework for computing various optimal embeddings of undirected and directed connected graphs in two and multi-dimensional integer lattices in time sub-exponential either in the minimum number n of lattice points used by such optimal embeddings or in the budget upper bound b on the number of lattice points that may be used in an embedding.

For the problem of minimum total edge length planar or multi-dimensional embedding or layout of a graph and the problem of an optimal protein folding in the so called HP model we obtain the upper bounds in terms of n . Note that in case of protein folding n is also the size of the input.

The list of problems for which we can derive the upper bounds in terms of b includes among other things:

- a minimum area planar embedding or layout of a graph,
- a minimum bend planar or three dimensional embedding or layout,
- a minimum maximum edge length planar or three dimensional embedding or layout.

This is a joint work with Anders Dessmark and Eva - Marta Lundell.

問い合わせ先：西関隆夫 nishi@ecei.tohoku.ac.jp

1.2.5 第314回研究講演会開催報告 (記事通番 04-36)

情報処理学会東北支部特別講演会報告

日時：2005年2月9日(水) 15:00 - 16:00

場所：東北大学大学院情報科学研究科 電気情報系2号館403号室

演題：Subexponential-time framework for optimal embeddings of graphs in integer lattices

講師：Professor Andrzej Lingas

Department of Computer Science, Lund University Sweden

概要：

We present a general framework for computing various optimal embeddings of undirected and directed connected graphs in two and multi-dimensional integer lattices in time sub-exponential either in the minimum number n of lattice points used by such optimal embeddings or in the budget upper bound b on the number of lattice

points that may be used in an embedding.

For the problem of minimum total edge length planar or multi-dimensional embedding or layout of a graph and the problem of an optimal protein folding in the so called HP model we obtain the upper bounds in terms of n . Note that in case of protein folding n is also the size of the input.

The list of problems for which we can derive the upper bounds in terms of b includes among other things:

- a minimum area planar embedding or layout of a graph,
- a minimum bend planar or three dimensional embedding or layout,
- a minimum maximum edge length planar or three dimensional embedding or layout.

This is a joint work with Anders Dessmark and Eva - Marta Lundell.

講演報告：

講演後は多数の質問が寄せられ、活発な質疑応答が行われた。講師の Lingas 教授からの回答に加えて参加者の方からも貴重なコメントを頂くなど、大変充実した内容であった。

参加者：約 30 名

報告者：西関 隆夫

東北大学 大学院情報科学研究科

〒980-8579 仙台市青葉区荒巻字青葉 6-6-05

TEL: 022-217-7162 FAX: 022-263-9301

1.2.6 第 3 1 5 回研究講演会開催案内 (記事通番 04-37)

情報処理学会東北支部研究講演会

講師：野口正一 (仙台応用情報学研究振興財団理事長，前会津大学学長，東北大学名誉教授)

演題：次世代情報・通信技術発展のために

場所：宮城大学 本部棟 4 0 0 講義室

日時：3月8日 3:10～14:10

概要：

日本の情報・通信技術は情報家電分野の急速な発展に支えられ、元気を取り戻した。しかし、IT 全体の各分野における日本の復活は国際的なレベルで見て十分可能なのだろうか。現状のままでは極めて難しい。

本報告ではこの問題解決のため、情報・通信技術を 5 段階の階層でモデル化し、この上で新しい具体的な IT 戦略のあり方について述べる。

1.2.7 第315回研究講演会開催報告 (記事通番 04-38)

情報処理学会東北支部学術講演会報告

日時：2005年3月8日(火) (13:10～14:10)

場所：宮城大学本部棟400講義室

講師：仙台応用情報学研究振興財団理事長

(前会津大学学長，東北大学名誉教授)野口 正一 氏

演題：「次世代情報・通信技術発展のために」

講演内容：

日本の情報・通信技術は情報家電分野の急速な発展に支えられ，元気を取り戻した。しかし，IT全体の各分野における日本の復活は国際的なレベルで見ても十分可能なのだろうか。現状のままでは極めて難しい。

本講演では，この問題解決のため，情報・通信技術を5段階の階層でモデル化し，この上で新しい具体的なIT戦略のあり方について述べられた。

参加者：約40名

報告者：富樫 敦

〒981-3298 宮城県黒川郡大和町学苑1番

宮城大学 事業構想学部 デザイン情報学科

TEL 022-377-8353

1.2.8 第316回研究講演会開催案内 (記事通番 04-39)

情報処理学会東北支部研究講演会

日時：2005年3月25日(金) (14:00～15:30)

場所：弘前大学理工学部1号館4階 第8講義室

講師：産業技術総合研究所生命情報科学研究センター 秋山 泰 氏

演題：「バイオインフォマティクス研究の最前線」

概要：

バイオインフォマティクス(生命情報科学)は、幅広い生命現象を計算論的な立場から取り扱う科学である。ゲノム配列からの遺伝子発見、推測されたタンパク質の立体構造予測、機能予測、そして低分子化合物との相互作用予測などの技術が最近急速に発展している。これらを統合してパイプラインとすれば、新規の病原体に関する高速な創薬や、微生物や植物資源の有効利用などへの夢が広がる。最近導入したBlue Gene/L(8192プロセッサ，理論最大性能 22TFLOPS)やその他の並列計算環境を駆使した、最新の研究について紹介する。

問合せ先：

氏名：水田 智史

住所：〒036-8561 弘前市文京町 3

所属：弘前大学工学部電子情報システム工学科

TEL：0172-39-3657

E-mail: slmizu@cc.hirosaki-u.ac.jp

1.2.9 第316回研究講演会開催報告（記事通番 04-40）

情報処理学会東北支部学術講演会報告

日時：2005年3月25日(金) (14:00～15:30)

場所：弘前大学工学部1号館4階 第8講義室

講師：産業技術総合研究所生命情報科学研究センター 秋山 泰 氏

演題：「バイオインフォマティクス研究の最前線」

講演内容：

バイオインフォマティクス（生命情報科学）は、幅広い生命現象を計算論的な立場から取り扱う科学である。ゲノム配列からの遺伝子発見、推測されたタンパク質の立体構造予測、機能予測、そして低分子化合物との相互作用予測などの技術が最近急速に発展している。これらを統合してパイプラインとすれば、新規の病原体に関する高速な創薬や、微生物や植物資源の有効利用などへの夢が広がる。

本講演では、産業技術総合研究所生命情報科学研究センターに最近導入された Blue Gene/L (8192 プロセッサ, 理論最大性能 22TFLOPS) の紹介をまじえ、並列計算環境を駆使した最新のバイオインフォマティクス研究が紹介された。

参加者：約 20 名

報告者：水田 智史

〒036-8561 弘前市文京町 3

弘前大学工学部電子情報システム工学科

TEL 0172-39-3657

1.2.10 第317回研究講演会開催案内 (記事通番 04-41)

情報処理学会東北支部研究講演会

日時： 2005年4月15日(金) 15:00-17:00

場所： 山形大学工学部 7号館 320室(1教室)

主な対象：ソフトウェアエンジニアを目指す学部学生及び大学院学生

[講演 1]

講師：日立ソフトウェアエンジニアリング 佐藤修紀

演題：誰も教えてくれない業務ソフトウェアの構造設計

概要：

ソフトウェア開発が品質で語られる時代はとうの昔に終わっています。今では納期を短く、それでも良い品質で、より安く作る事が求められています。しかし、今までの品質だけを追求するやり方では、納期・品質・価格を同時に満足する事はまず無理です。そこで重要になってくるのがソフトウェアの構造設計です。いままでは品質の裏にかくれて重要視されていなかった部分ですが、今のソフトウェア開発に必須となってきているので、その基礎について説明します。

[講演 2]

講師：アスペックス 金沢裕毅

演題：企業としてのオープンソース導入の心構え

概要：

最近では企業でもオープンソースが一目置かれていますが、言葉だけが一人歩きしている状態で、結局は初期コストの抑制や企業宣伝の道具としてしか使われていないことがしばしばです。実際にパッケージ開発をしたときにオープンソースを取り入れる決断をして承認してもらい、実際に実装した経験から得た、ソフトウェア開発でオープンソースを適用するときに行うべきこと、心構えを説明します。

[講演 3]

講師：パワービーンズ 門田明彦

演題：WEB サービスで変わる開発スタイル

概要：

Google, Amazon でも提供されている「WEB サービス」を効率よく導入することでブラウザだけにとらわれないリッチクライアントシステムなどが開発されています。従来の C/S モデルとの比較、開発時間の短縮、言語非依存のプロトコル、といった「WEB サービス」のメリットについて、SOAP、UDDI や、実際に私が公開している「住所検索 WEB サービス」を例に紹介します。

問合せ先：

氏名：平中幸雄

住所：〒992-8510 米沢市城南 4-3-16

所属：山形大学工学部情報科学科

電話番号：0238-26-3322

E-mail: zioi@ieee.org

1.2.11 第317回研究講演会開催報告 (記事通番 04-42)

情報処理学会東北支部研究講演会

日時：2005年4月15日(金) 15:10-17:10

場所：宮山形大学工学部 7号館 401室(E教室)

場所：主な対象：ソフトウェアエンジニアを目指す学部学生及び大学院学生

[講演1]

講師：日立ソフトウェアエンジニアリング 佐藤修紀

演題：誰も教えてくれない業務ソフトウェアの構造設計

概要：

ソフトウェア開発が品質で語られる時代はとうの昔に終わっている。今では納期を短く、それでも良い品質で、より安く作る事が求められている。しかし、今までの品質だけを追求するやり方では、納期・品質・価格を同時に満足する事はまず無理である。そこで重要になってくるのがソフトウェアの構造設計である。今までは品質の裏にかくれて重要視されていなかった部分だが、今のソフトウェア開発に必須となってきている。講演では、構造設計についてわかりやすい説明があり、デザインパターン、テストツールについても実地的な言及があった。

[講演2]

講師：アスペックス 金沢裕毅

演題：企業としてのオープンソース導入の心構え

概要：

最近では企業でもオープンソースが目置かれているが、言葉だけが一人歩きしている状態で、結局は初期コストの抑制や企業宣伝の道具としてしか使われていないことがしばしばである。パッケージ開発をしたときにオープンソースを取り入れる決断をして承認してもらい、実際に実装した講師の経験から得られた、ソフトウェア開発でオープンソースを適用するときに行うべきこと、心構えについて説明があった。データウェアハウスソフ

ト開発に関連して利用したオープンソースでの、ライセンス、修正対策、自動デグレードテストなどについても解説があった。

[講演 3]

講師：パワービーンズ 門田明彦

演題：WEB サービスで変わる開発スタイル

概要：

Google, Amazon でも提供されている「WEB サービス」を効率よく導入することでブラウザだけにとらわれないリッチクライアントシステムなどが開発されている。従来の C/S モデルとの比較、開発時間の短縮、言語非依存のプロトコル、といった「WEB サービス」のメリットについて、SOAP、UDDI や、実際に講師が公開している「住所検索 WEB サービス」を例に、ソースを元にした解説と動作のデモンストレーションがあった。

参加者：34 名

報告者：平中幸雄

〒992-8510 米沢市城南 4-3-16

山形大学工学部情報科学科

TEL：0238-26-3322

E-mail：zioi@ieee.org

1.2.12 第 3 1 8 回研究講演会開催案内 (記事通番 04-43)

情報処理学会東北支部研究講演会

日時：2005 年 4 月 26 日(火) 14:30 ~ 15:30

場所：東北大学大学院工学研究科 青葉記念会館 4 階大研修室

講師：Dr. Osamu Takahashi

Senior Technical Staff Member

SPC Circuit/Integration, Technical Team Manager

STI Design Center, Austin, TX

演題：Introduction to a CELL processor and its Synergistic Processor Element

概要：

CELL is an extension of POWER architecture and is a multi-core microprocessor, developed in a 90nm SOI technology. CELL contains 64b POWER processor and 8 Synergistic Processor Elements (SPE), a 4-way SIMD Processor. In SPE, CMOS static gates implement the majority of the logic. Dynamic circuits are used in critical areas, occupying 19% of the non-SRAM area. ISA, microarchitecture, and physical implementation are tightly coupled to achieve a compact and power efficient design of SPE.

問合せ先：

氏名：江川隆輔

住所：〒980-8579 仙台市青葉区荒巻字青葉 6-6-01 機械系 2 号館

所属：東北大学大学院情報科学研究科

電話番号：022-795-7013

FAX 番号：022-795-7013

E-mail: egawa@archi.is.tohoku.ac.jp

1.2.13 第 3 1 8 回研究講演会開催報告 (記事通番 04-44)

情報処理学会東北支部学術講演会報告

日時：平成 17 年 4 月 26 日(火) 14:30～15:30

場所：東北大学大学院工学研究科 青葉記念会館 4 階大研修室

講師：Osamu Takahashi 氏 (米国 IBM STI デザインセンター)

演題：Introduction to a CELL processor and its Synergistic Processor Element

講演要旨：

CELL プロセッサは、POWER アーキテクチャを拡張したマルチコアのマイクロプロセッサであり、90nm SOI テクノロジーで開発された。CELL は、64 ビットの POWER プロセッサと 8 個の SPE (Synergistic Processor Element)、および 4 ウェイの SIMD プロセッサからなる。SPE のほとんどは、CMOS のスタティックゲートで実装され、重要な部分がダイナミック回路で実装されている。その割合は、SRAM 以外の領域の 19%である。ISA、マイクロアーキテクチャ、および実装が効果的に調和することで、SPE は簡潔なハードウェア構成で省電力化を実現している。

参加者：約 50 名

報告者：鈴木健一

〒980-8579 仙台市青葉区荒巻字青葉 6-6-01

東北大学大学院情報科学研究科

1.2.14 第 319 回研究講演会開催案内 (記事通番 04-45)

情報処理学会東北支部 第 319 回研究講演会開催案内

特別講演会 (第 319 回研究講演会)

日時：平成 17 年 4 月 27 日 (水) 14:40 ~ 16:10

会場：東北大学工学部電子情報システム・応物系 101 大講義室

講師：山口忠博 氏 (パイオニア株式会社 常務取締役)

演題：将来の AV と IT について

要旨：

インターネットの普及にあわせて、家電メーカーが、どのようにネットに取り組んできたか、またパソコン業界からのオーディオ・ビジュアルへのアプローチは、どうであったかを振り返る。各国のデジタル放送の動きと将来の家電に取り込まれる IT 技術について述べる。

問合せ先：

情報処理学会東北支部庶務幹事

水木敬明 (東北大学情報シナジーセンター)

tm-ipsj@rd.isc.tohoku.ac.jp

3. 電気関係学会東北支部連合大会開催のご案内

1.3.1 平成 17 年度電気関係学会東北支部連合大会開催案内及び講演募集

(記事通番 04-46)

平成 17 年度電気関係学会東北支部連合大会開催案内及び講演募集について

期日 平成 17 年 8 月 25 日(木), 26 日(金)

25 日(木) 午前: 一般講演, 製品カタログ展示会

午後: 一般講演, 製品カタログ展示会, 特別講演会

夜: 懇親会

26 日(金) 午前: 一般講演, 製品カタログ展示会

午後: 一般講演, 製品カタログ展示会

会場 岩手大学 学生センター棟

(〒020-8550 盛岡市上田 3-18-34)

主催 電気学会・電子情報通信学会・照明学会・日本音響学会・映像情報メディア学会・
情報処理学会・電気設備学会(各東北支部)・IEEE SENDAI SECTION

講演内容

各専門分野で最近行った研究の発表, 各専門分野で最近行った工事報告, 現場実験報告,
新製品の紹介等.

- ・講演者は主催学会会員に限ります(入会手続き中を含む).
- ・講演時間は 1 件 15 分以内(討論時間を含む)とします.
- ・使用言語は, 日本語または英語のこと.
- ・発表用の OHP およびプロジェクタを各講演室に準備します.

Student Session について:

1. 目的及び趣旨 電気・情報系に学ぶ学生・大学院生の国際性の育成とプレゼンテーション技術の向上のため, 英語により予稿を準備し, 発表にあたっては学生どうしで切磋琢磨しあうセッションを設ける.
2. 参加資格 高専生及び大学生・大学院生(後期課程含む)
3. 原稿 英文による A 4 版 1 枚(通常の予稿と同じ)
4. 発表方法 日本語又は英語

5. テーマ 連合大会を構成するすべてとし、特定しない。
6. 申込方法 大会ホームページ上にある通常の論文申し込み方法と同時に申し込み要項の下にある「Student Session を希望します」というボタンをクリックし、所属・学年等を記入して下さい。

申込方法：

1. 講演申し込み及び論文投稿をインターネットで行います。
大会ホームページ： <http://www.ecei.tohoku.ac.jp/tsjc/>
Web上の説明に従って、申し込みを行ってください。詳しくは「申し込み要項」をご覧ください。
(5月13日(金)から投稿を受付予定です。)
2. プログラムについて7月13日(水)(予定)からプログラム(案)を上記ホームページに掲載いたしますので、講演者と参加者の方々は各自ご参照下さい。表彰についてもホームページから必要な書類をダウンロードしてください。
3. 講演原稿執筆の際には「予稿の書き方」をよく読んでください。
4. 講演筆頭著者としての申込件数は、1名2件までとします。但し連名による申込に制限はありません。
また、内容が著しく不相当と思われる場合は講演を制限する場合があります。
5. 講演申込金は1件につき3,500円とします。(論文集代、別刷50部代を含みます)。

申込・原稿締切日：6月10日(金)(予定)必着厳守(申込と原稿を同時締切とします)。

論文集：発表者には、大会当日受付にて配布します。大会当日販売も行いますが、郵送を希望される場合は、連合事務局までお申し込み下さい。
(1部3,000円、郵送料別)

特別講演会、懇親会：未定(詳細は大会ホームページに掲載いたします。)

申込・問合せ先：

〒980-8579 仙台市青葉区荒巻字青葉 6-6-05
東北大学工学部電気情報系内
電気関係学会東北支部連合事務局
TEL/FAX:(022) 217-7187
E-mail: rengojimu@ecei.tohoku.ac.jp

4. その他各種研究講演会のご案内

4.1.1 映像情報メディア学会東北支部講演会開催案内 (記事通番 04-47)

下記の通り、情報処理学会東北支部共催の映像情報メディア学会東北支部講演会開催を予定しております。

また、講演会の詳細が下記 URL から見る事が出来ます。御覧下さい。

<http://www.topic.ad.jp/ipsj-tohoku/2004/kenkyu/media.pdf>

映像情報メディア学会 東北支部 講演会開催案内

【日 時】 2005年2月25日(金) 13時30分から16時00分

【場 所】 「パレス宮城野」 2階 錦萩の間
仙台市青葉区上杉三丁目3-1

【テーマ】 有機EL

【開催趣旨】東北の地上デジタル放送の開始が年末に予定されるなか、薄型テレビや携帯電話の普及は目覚ましいものがあります。その薄型テレビや携帯電話などに、今後さらなる期待のかかる有機ELについて、最新の技術情報を知識として得るため、講演会を開催いたします。

【聴講料】 無料

【講演】

「フレキシブル有機ELディスプレイの研究開発」
時任 静士 NHK放送技術研究所 材料基盤技術
主任研究員

「有機EL事業の現状と今後の課題」

當摩 照夫 東北パイオニア(株) 常務執行役員
有機EL開発室 室長

【定 員】 160名(定員になり次第締切り)

【申し込み方法】E-mail又はFAXにて氏名、所属、メールアドレスをご記入のうえ、事務局まで申し込み願います。

締め切りは2月18日(金)とさせていただきます。

【問い合わせ先】映像情報メディア学会 東北支部 事務局

N H K 仙台放送局 技術部（企画）内

Tel 022-211-1029 F a x : 022-263-4032

E - mail: tobisawa.a-du@nhk.or.jp

【主催】 映像情報メディア学会 東北支部

【共催】 電気学会、電子情報通信学会、照明学会、日本音響学会
情報処理学会、電気設備学会 （各東北支部）

I E E E Sendai Section

2 東北支部カレンダー

デジタル支部だより発行予定

207号（2005年6月末日発行予定）